

報告

平成24年1月24日(火)
女性に対する暴力に関する
啓発小委員会(第3回)
報告者:浅野 万里子
(社)ガールスカウト日本連盟



少女に対する暴力を なくすためのセミナー



事業名:少女に対する
暴力をなくすためのセミナー
期日:平成23年12月23日(金・祝)
会場:ガールスカウト会館
主催:内閣府、男女共同参画推進連携会議、
社団法人ガールスカウト日本連盟
講師:NPO法人女性と子ども支援センター
ウイメンズ'ネット・こうべ代表理事正井礼子
講師徳永桂子
参加者:41名



<趣旨>

少女に対する暴力をなくすために、少女自身が
「暴力を受けない」
「暴力をなくすことを訴える」
「暴力を受けたときの対処」
をできるようになるためのプログラムを開発する
ことを目的とし、主に、高校生、大学生年代の
青少年および、青少年教育に携わる人に対して
セミナーを開催する。



導入 (10分)

- ・「少女への暴力」と聞いて、参加者それぞれ
が思うことを、グループで共有した。

<参加にあたっての注意事項>

個々の意見を尊重すること
聞いた内容は他言しないこと
精神的に参加していること辛くなった場合は
すぐに申し出ること



デートDV防止モデル授業 (45分)

- ・質問表の項目について、DVIに該当すると思うか否
かを回答する。

質問例

- ・DVIは大人の問題、高校生間にはない
- ・デートで暴力をふるわれたら、すぐに別れるはず
- ・暴力を振るわれる方にも悪いところがあると思う
- ・避妊に協力しなくても、DVとは思わない



• ロールプレイング1(やりとりを見て、考える)

1. 部活を休んで一緒に映画に行くよう彼女に強要する彼。この時、彼女なんて部活を頑張っても無駄だと罵倒し、彼女は彼に従う。
2. 彼の携帯に入っている女性の連絡先をすべて消去しようとする彼女。他の女性との連絡は一切許さない彼女に彼は従う。
3. 服装をチェックしたり、始終連絡してきて返信がしないと怒鳴る彼について悩む彼女は女友達に相談するが、それは彼の愛情だから、怒らせないようにすべきだとアドバイスする女友達。



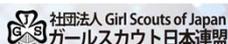
ロールプレイング2(やりとりを見て、考える)

1. 映画に誘う彼。彼女は部活だからと断る。彼は残念がりながらも、彼女の頑張りを応援する。
2. 彼の携帯に入っている女性の連絡先をすべて消去しようとする彼女。異性であっても友人は大切だという彼の言葉に、束縛すぎない方が楽しく付き合えると再認識する彼女。
3. 服装をチェックしたり、始終連絡してきて返信しないと怒鳴る彼について悩む彼女は女友達に相談する。過度の束縛や怒鳴ることは暴力であり、大事にされているのではない。必要があれば相談センターと一緒に
行くと伝える女友達。



ロールプレイを見た参加者の声

- ロールプレイをしている中、後の会話には分かり合い、相手を尊重する気持ちが表れていると感じた。
- すべての人間関係に当てはまる。会社でも上司と部下にも置き換えて考えられる。
- 相談された友達の声かけや対応一つで被害は食い止められると思った。



被害者支援について (45分)

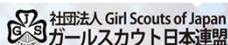
- DV被害者は加害者によって、周囲との関係を断ち切れ、孤立する可能性が高い。支援者は加害者とは反対の対応、力支配や強制ではなく、常に味方であることを示す
- 「あなたが悪いんじゃない、よく話してくれた」と言い、本気で寄り添い、心配し、話を聴いてくれる人がいることで、被害者は社会への信頼を失わずにいられる
- 本人、親子だけでは解決できないことも多い、支援団体や警察にも協力を求めることは必要



参加者ディスカッション (40分)

「少女に対する暴力が起こる原因は何か」

- 若い世代がデートDVについて知らない
- 暴力に対する認識不足
- メディアによる「女らしさ」のすり込みやそれを求める意識がまだ根強くある
- 家族関係の希薄化
- 自分の意見を述べることでできない子ども



「少女に対する暴力を少しでも防ぐために、家族や友達に伝えるべきこと」

- DVというと身体的な暴力だけというイメージがあるため、心や尊厳を傷つけることもDVIにあたるということをも、多くの人が認識するよう伝えていく必要がある
- DVIは身近にあること、異性間だけでなく、同性間、友達間でも起こりうること
- 支援団体や警察に相談するのをためらわない。そこから解決策を見出せること、GSもその手助けができること
- カラオケなど個室では女子同士は色々な話をするのでそういったところにSOSカードを設置するなどして啓発していく必要性



「このセミナーで得た情報を効果的に周囲の人（またはスカウト）に伝えるためにはどんな方法があるのか」

- ・ 中高生にはロールプレイングを取り入れた今回のようなモデル授業形式で伝える
- ・ 小学生には恋人を友達に置き換えて、ロールプレイングを行えば、理解でき、人間関係について考えることができる
- ・ (特に小学生には) 自尊と他尊の心を育むことで根底の部分



社団法人 Girl Scouts of Japan
ガールスカウト日本連盟

まとめ

少女に対する暴力をなくすために

＜少女に対し＞

- ・ 自尊、他尊の心を育てる
これは少女だけでなく、少年に対しても必要。
誤った男らしさ・女らしさを植え付けない
- ・ 対等な人間関係を築く力をつける
- ・ いつでもSOSを出せる安全な場所を提供し、信頼できる味方となること
- ・ 愛に束縛や暴力はないことを伝える

社団法人 Girl Scouts of Japan
ガールスカウト日本連盟

少女に対する暴力をなくすために
＜社会に対し＞

- ・ どのような行為がDV/デートDVとなり、相手を傷つけているのかを伝える
- ・ いかなる暴力も許さない社会にする
- ・ ジェンダーに基づく偏見をなくす。生物学的に男女は異なるが、その価値は同等であることを伝える
- ・ 女性が結婚・出産後も経済的に自立し、男女格差をなくすよう働きかける

社団法人 Girl Scouts of Japan
ガールスカウト日本連盟

日本での活動

実施済

- ・ 内閣府との共催事業
「少女に対する暴力をなくすためのセミナー」
平成23年12月23日(金・祝)
 - ・ ガールスカウト日本連盟ヤングリーダーのための研修会
「チェンジエージェントになろう」
平成23年12月23日(金・祝)-24日(土)
- 来年度(計画中)
- ・ WAGGGSや国連と連動したキャンペーン
 - ・ 「ピア・エデュケーション」若い女性による少女への教育
 - ・ ツールキット作成

社団法人 Girl Scouts of Japan
ガールスカウト日本連盟

少女に対する暴力

世界では...

10人のうち6人までの女性が**身体的・性的な暴力**を生涯のうちうけている (UN Women)



社団法人 Girl Scouts of Japan
ガールスカウト日本連盟

少女に対する暴力

世界では...

5人のうち1人の少女と女性が**レイプ**または**レイプ未遂の被害者**となりうる



社団法人 Girl Scouts of Japan
ガールスカウト日本連盟

少女に対する暴力

世界では...
 年間80万人の人身売買のうち80%が女性と少女であると推定されている
 >多くは 性的搾取のため



社団法人 Girl Scouts of Japan
 ガールスカウト日本連盟

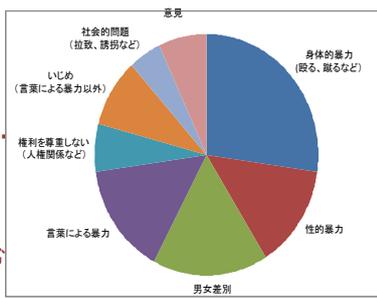
世界では...

- > 1億人の少女が行方不明
- > 6000万人以上の少女が、18歳以前に結婚した児童婚
- > 1億~1億4000万人の少女・女性 女性器切除の経験
 300万人の少女がトラウマと後遺症
- > 毎年...通学途中、また学校で
 6000万人の少女が性的な暴力を受けている
- > 紛争後、災害の状況下
 少女、女性の暴力・性的暴力リスクは高まる
- > 少女に対する暴力 HIVのリスクも高い

社団法人 Girl Scouts of Japan
 ガールスカウト日本連盟

日本では

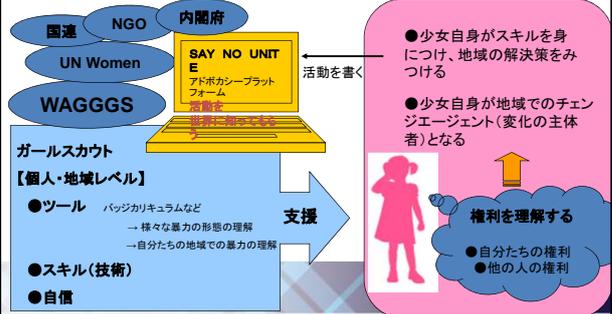
- ・ 身体的暴力
 - ・ 虐待
 - ・ 性犯罪・性的暴力
 デートDV
 - ・ 言葉による暴力
 - ・ インターネット上
 - ・ いじめ(メール含む)
 - ・ 男女差別
- など



社団法人 Girl Scouts of Japan
 ガールスカウト日本連盟

どのように展開していくのか 少女に対する暴力をなくしていくのか？

●ノンフォーマル教育を通して...



世界で1,000万人が取り組む

Global Advocacy Campaign

- ・ 少女に対する暴力をなくすキャンペーン



社団法人 Girl Scouts of Japan
 ガールスカウト日本連盟

GAC

- ・ 2011年WAGGGS世界会議で発表
 >各連盟 2012年4月から10年間
- ・ 2020年のビジョン
 少女と若い女性が尊重され、世界を変えるために行動を起こす。
- ・ 助けるのではなく 少女に力をつける

社団法人 Girl Scouts of Japan
 ガールスカウト日本連盟

WHY?

- MUST－しなければならない
- CAN－できる
- EDUCATION－教育
- IMPORTANCE－重要
- NO-ONE－誰もしていない

私たちが取り組まずに、
他のだれがしますか！？